

## 継続したピロプラズマ病対策を！

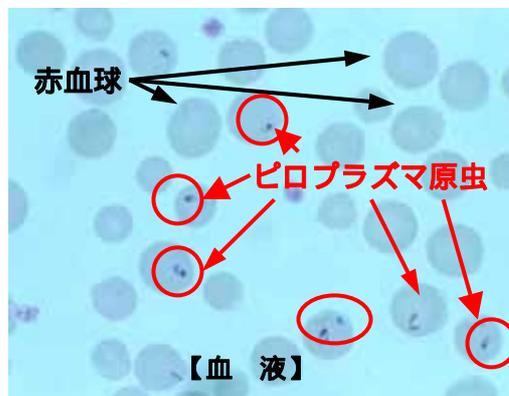
ピロプラズマ病は、牛の血液（赤血球）に原虫が寄生して起きる病気です。**重度の貧血**や、それによる**黄疸**、**血尿**、**発熱（ダニ熱）**により、牛の健康に害を及ぼします。フルメトリン製剤（パイチコール等）によるダニ駆除の効果が高く、最近では発症牛は少なくなりましたが、対策を継続して、ピロプラズマ病から牛を守りましょう。

### 1. ピロプラズマとは？

- ・ピロプラズマ原虫は、血液（赤血球）に寄生する目に見えない小さな原虫です。
- ・寄生した赤血球が壊れることで、症状を引き起こします。（貧血、黄疸、血尿、発熱など）

### 2. どんなふうに伝染するの？

- ・ピロプラズマ原虫は、ダニによって運ばれて牛に感染します。ダニが血を吸うことで、血液の中にピロプラズマの原虫が侵入します。



若ダニ

成ダニ(吸血後)



- ・ダニは、下のように成育し、**吸血**の時にピロ原虫が感染します。

卵      孵化      幼ダニ      **吸血**      脱皮      若ダニ

産卵      交尾      成ダニ      **吸血**      脱皮      **吸血**

- ・牧野周辺の野生動物（ノネズミ、シカなど）もピロの生息を維持している恐れがあります。

**ピロの被害が少なくなっても、対策を継続しましょう！**

### 3. 対策は？

**フルメトリン製剤等でダニの駆除を徹底しましょう！**

ピロの感染は、ダニの吸血によって起こります。ダニの吸血を防ぐことが大切です。

**塗布は入牧時から！その後は3週間隔で確実に塗布しましょう！**

牛の体全体を覆うように塗布しましょう。頭～顔面も忘れないで！！

**ダニのすみにくい環境を維持しましょう！**

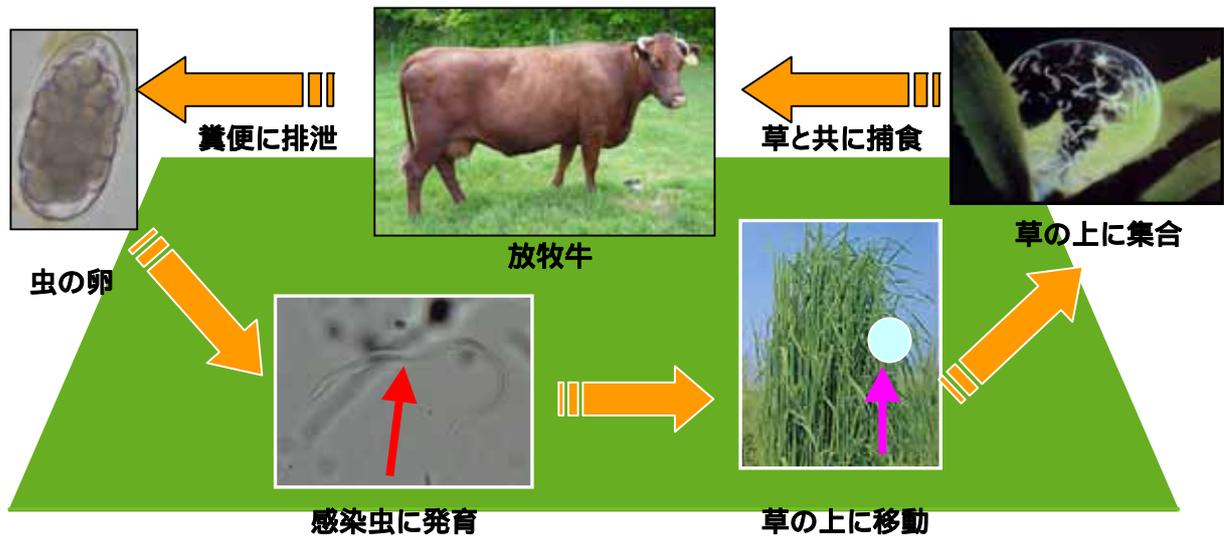
雑林や雑草（ブッシュ）の少ない環境を維持し、電牧などでダニの生息場所に牛が近づかない工夫をしましょう。掃除刈りなどこまめな草地管理もダニ対策の効果があります。

# 消化管内線虫について知っていますか？

消化管内線虫（線虫）は、牛の体内に寄生する虫で、多くの牧野で寄生が確認されています。  
 子牛で、**増体の減少**、**毛艶の悪化**、**下痢や呼吸器病**  
 成牛で、**飼養効率の低下**、**繁殖障害**、**乳量と乳質の低下**  
 その結果、**子牛の売価低下**や**成牛の生産性低下**を招きます。

## 1. 線虫のライフサイクルは？

・線虫は、牛の体内と外界（牧野・牛床）を行き来します。



## 2. 寄生場所は？

・線虫には、多くの種類が存在し、寄生場所も多様（肺・胃・腸）で、その実害も様々です。



**牛捻転胃虫**  
 寄生; 第4胃  
 実害; 吸血  
**貧血!**



**乳頭糞線虫**  
 寄生; 小腸  
 実害; 皮膚侵入  
**突然死!**



**鞭虫**  
 寄生; 大腸  
 実害; 粘膜侵入  
**血便!**

## 3. 対策は？

駆虫薬を投与しましょう！

- ・駆虫薬は、**イベルメクチン製剤**や**モキシデクチン製剤**です。
- ・投与時期は、**入牧前**、**入牧後3～8週(1～2回)**、**退牧時**です。
- ・投与方法は、背中に塗布する方式で、とても手軽です。
- ・具体的な、投与<sup>°</sup>グラムや経費は、家畜保健衛生所、獣医師、メーカーに問い合わせ下さい。

「駆虫で、生産効率を上げ、儲けましょう！」

放牧期間中に、空牛舎の除糞（敷料）洗淨、消毒を実施しましょう！

「乳頭糞線虫は、敷料内で自家繁殖します！」

詳しくは 岩手県中央家畜保健衛生所衛生課まで  
 019-688-4111